

ぼう さい だけ まな かんが
～防災を正しく学び、考える～

あおもり おまもり ノート 指導用 ガイド



あおもりけんぼうさい
青森県防災ハンドブック
公式マスコットキャラクター
「おまもリス」

しょう がっ こう ねん せい よう
小学校1～3年生用

あお もり けん
〈青森県〉



指導用ガイドの使い方

この指導用ガイドは、指導者の皆様が、未来の地域防災を担う子どもたちへ正しく防災教育を実施できる手助けになるよう作成したものです。

解答例だけでなく、子どもたちが自分事として防災を学ぶことができるように、指導方法などを記載しておりますので、学校の授業等で「あおもりおまもりノート」を活用する際は、この指導用ガイドを参照してご指導くださるようお願いいたします。

●赤い吹き出し部分

単に正解を知らせるだけでなく、「なぜ、そうなのか?」「その場合、どうするべきか」など、強調して指導してほしいポイントが書かれています。

●各ページの想定学習時間については、20～30分を想定しています。

●下部の家族チェック

子どもたちが学ぶだけでなく、保護者の皆様にも一緒に学んでもらうため、家族チェックの欄を設けました。授業等で「あおもりおまもりノート」を活用した際は、自宅に持ち帰り、家族のチェックをもらってくるようにご指導くださるようお願いいたします。

「あおもりおまもりノート」

家にいるとき、地震が起きたら!

絵を見て、正しいもの それぞれ2つに○をつけましょう。

【間違いの理由】
モノが壊れるのを守ることより、一番に自分の身を優先して守ることを指導しましょう。

【間違いの理由】
タンクが倒れてきて、下敷きになる危険が、また、頭を両手で守るのは良いことですが、閉じ込められる危険があるので、なるべく早めに外に出るよう指導しましょう。

【間違いの理由】
鏡が割れて、怪我をする恐れがあります。また、浴槽のお湯に隠れても、身を守ることにはなりません。

【間違いの理由】
ひなんのときにひつようなものをリュックにつめ、いつでも持ち出せるように!

●現金
●携帯電話
●財布
●飲料水
など
(詳細は青森県防災ハンドブック「あおもりおまもり手帳」P98,99を参照)

トイレット上部に棚がある家庭もあります。その場合の身の守り方を教えましょう。

トイレでは?

- まどやドアを開け、なるべく早くトイレから出る。
- タンクがたおれないようにおさえる。
- 頭を両手で守り、とじこもる。
- 上から落ちてくるものから頭を守る。

お風呂では?

- せん面きなどで頭を守る。
- かがみがわれないようにおさえる。
- まどやドアを開けお風呂を出る。
- よくそうのお湯にもぐってかくれる。

地震がおさまったら、すぐに ひなん!

家を出る前にするべき じゅん番を1～4の数字で書いてみましょう。

2 ぬげにくい そのあついくつをはく

1 電気 プレーカーを落とす

3 まどやドアのカギをかけ、カーテンをしめる

4 ひなん先を近所につたえる

ポイント
さげんがせまって いるときは、そのまま すぐにひなんしよう!

家族 チェック

コメント欄 (月 日)

●おまもりポイント

左記のように、おまもりポイントがナビゲーターになっている箇所は、その問題に関連したアドバイスや身につけてほしい知識や情報をまとめてあります。

指導するときは、指導者の皆様からも「大事なポイント」の一つとして説明するようお願いいたします。

学校の授業等において、モニター等を活用し、子どもたちに防災教育を実施する際は、「あおもりおまもりノート」のパワーポイント版と防災教育素材集を適宜活用して下さるようお願いいたします。

指導形態に応じて、パワーポイント版や素材集を活用！

【例】その1

パワーポイント版

学校へん 教室にいるとき、地震が起こったら!
絵を見て、自分の身を守るための正しい行動をとっている人をおどきでこみ、そうではない人には、×をつけましょう。

地震によって起きてきたり、たおれてくるものがあります。みんなの教室にあるものをチェックしてみましょう。

| 落ちてくるもの | たおれてくるもの | 動いてくるもの |
|--|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 教室の けいこうとう | <input checked="" type="checkbox"/> 備だな | <input checked="" type="checkbox"/> 先生のつくえ |
| <input checked="" type="checkbox"/> 机の奥のけい | <input checked="" type="checkbox"/> ロッカー | <input checked="" type="checkbox"/> 衣そう |
| <input checked="" type="checkbox"/> つくえの上の花びん | <input checked="" type="checkbox"/> まどガラス | <input checked="" type="checkbox"/> つくえやイス |
| <input checked="" type="checkbox"/> たのの上にあるもの | <input checked="" type="checkbox"/> 教室のびら | <input checked="" type="checkbox"/> たのの上にあるもの |
| <input checked="" type="checkbox"/> スピーカー | <input checked="" type="checkbox"/> テレビ | <input checked="" type="checkbox"/> 本 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 天じょう | | |

解答欄については、指導者の皆様が自由に入力できるようになっていますので、指導者用ガイドを参考にして、地域の実情を踏まえた解答を作成し、子どもたちが自分事として防災を学ぶことができるようにご指導ください。



模範解答欄にテキストボックスを追加することで、自由に入力・編集できるよ。

【例】その2

パワーポイント版

ひなん所で過ごす方法
ひなん所で過ごすとき、何に気をつけてすごしますか？絵を見てから、自分が注意すべき正しい方法に○をつけましょう。

【けんこうのために】

| | | |
|---|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> しっかり水分をとる | <input checked="" type="checkbox"/> トイレの回数へらす | <input checked="" type="checkbox"/> なるべく体を動かす |
| <input checked="" type="checkbox"/> 靴をはかなくていい | <input checked="" type="checkbox"/> トイレはがまんしない | <input checked="" type="checkbox"/> ほげしい運動をする |

【暑さ・寒さへの対策】

| | | |
|--|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 暑いとき、扇風機を回す | <input checked="" type="checkbox"/> 暑くても手ぶらで歩かない | <input checked="" type="checkbox"/> 暑くてもがまんする |
| <input checked="" type="checkbox"/> 水が足りない、お水を飲む | <input checked="" type="checkbox"/> 寒いとき、手足を温める | <input checked="" type="checkbox"/> ゆかに新聞紙やタオルをしく |

【感染症予防】

| | | |
|---|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 話す時、マスクをはずす | <input checked="" type="checkbox"/> こまめな手洗い・うがい | <input checked="" type="checkbox"/> 咳みやせきなど、この手をうけつづいて |
| <input checked="" type="checkbox"/> つばにマスクをする | <input checked="" type="checkbox"/> 痛くときは無理しない | <input checked="" type="checkbox"/> うがいだけで済ませる |

地球温暖化が進むとどんなことが起こるの？
地球温暖化によって、海、地上では、どんなことが起こっていますか？正しいものすべてに○をつけましょう。

- 世界で起きていること
 - 海水がとけて、海の氷が溶かなくなっている
 - 動物たちが生きていけない
 - さかみがとれる量が減っている
 - 魚が死んだり減っている
- 日本で起きていること
 - 全国で地震で被害が出るようになった
 - 大雨や台風が多くなった
 - さくらが早く咲くようになった
 - 気温が上がってきている
- 昔と比べて起きていること
 - 氷温が上がること、海でとれる魚の量が減っている
 - 山や海に生える草や動物が減った
 - 雪より、冬にふる雪の量が少なくなっている
 - 気温が30度をこえる日が多くなった

あおもりおまもりノートをカラー印刷できない場合は、モニター等に投影することで、イラストや画像などをより鮮明に子どもたちへ伝えることができます。



【例】その3

防災教育素材集



出典：いわて震災津波アーカイブ/提供者：岩手県県土整備部河川課

防災教育素材集には、「あおもりおまもりノート」に掲載しきれなかった画像、動画や市町村ハザードマップのリンク等を格納しているので、使用するページに合わせ、モニター等に投影することで、より実践的な防災教育が可能となります。



「あおもりおまもりノート」のデータは、青森県庁ウェブサイトからダウンロードできます！

あおもりおまもりノート



あおもりけん し
 青森県は、ゆたかな自ぜんにめぐまれ、おいし
 さかな かい かい ぶつ こめ や
 い魚や貝などの海さん物、りんご、米、野さいなど
 のう ぶつ あじ うつく
 の農さん物を味わうことができます。そして、美し
 やまやま みずうみ とち あ かざん
 い山々や湖は、土地がもり上がったり、火山がふ
 か
 ん火してできたもの。多くの農さん物は、その火
 ざん つち りょう すいでん こうずい
 山ばいをもとにした土を利用し、水田は、洪水に
 よってたまつた土をひつようとします。たくさんの
 めぐみをあたえてくれる自ぜんは、時には人にひ
 がいをあたえることがあることも決してわすれて
 はいけません。そんなとき あんぜん ばしょ
 はいけません。そんな時は、安全な場所へにげる
 べきであり、もし、ひがいにあってしまったときは、
 たす あ たいせつ
 ともに助け合うことが大切です。



りんご



おいらせけい流



とわだこ
十和田湖

もくじ
目次

かく
各ページ
 20~30分
 想定

あおもりけん お し
 青森県で起こるかもしれないさいがいを知ろう P04-07

じ しん み まも がっこう
 地震から身を守ろう(学校) P08-09

じ しん み まも か てい
 地震から身を守ろう(家庭) P10-11

じ しん み まも そと
 地震から身を守ろう(外にいるとき) P12-13

つ なみ み まも
 津波から身を守ろう P14-15

おおあめ こうずい たいふう み まも
 大雨・洪水・台風から身を守ろう P16-19

じよ かた かん よ
 ひなん所でのすごし方&感せんしょう予ぼう P20

ち きゅうおん か か
 地球温だん化にともなう さいがいのへん化 P21

じつ まな
 実れいなどから学ぼう P22-23

さいがいにそなえじゅんびしよう! P24

はつこう あおもりけん
 発行:青森県

かんぎょう くにたつたいがく とうほく さいがいかく せいかく せいかく
 監修:国立大学法人 東北大学 災害科学国際研究所 (IRIDeS)

きょうりく くにたつたいがく くにたつたいがく くにたつたいがく くにたつたいがく
 協力:国立大学法人 弘前大学 教育学部、青森県PTA連合会、青森市

せんもん せいのり せいのり
 前文「青森県のみ力」 国立大学法人 弘前大学教育学部 教授 小岩 直人 氏

しょう がっ こう ねん せい 小学校1・2・3年生のみなさんへ

きんねん にほん じしん たいふう う かざん おおゆき さま
近年、日本では地震、台風・ごう雨さいがい、火山さいがい、大雪など、様
ざまなさいがいがはっせい、それにより多くの命がうしなわれてきました。

あおりけん おお お
青森県でも、大きなさいがいが起こるきけんがあります。
さいがいから自分の命を守るために、日ごろから そなえなくて、
はいけません。

この「あおりおまもりノート」は、みなさんがただ正しくぼうさ
いをまな学び、さいがいへの そなえをすることで、さいがいから命
まもを守ることができるようにするためにさく作せしたものです。



おまもりス

保護者の皆さんへ

平成23年に発生した東日本大震災以降も、全国では、大規模な災害が立て続けに発生し、多くの犠牲者が出ています。

青森県で大規模災害が発生した際に、子どもたちを災害から守るためには、子どもたちはもちろん、周りにいる大人たちの防災意識の向上や家庭における備えがあらかじめ十分行われていることが必要となります。

この「あおりおまもりノート」を子どもたちと一緒に家庭や地域でも活用いただき、子どもたちだけではなく、家族を含めた大人たちの防災意識を高めていくことが地域防災力の向上につながっていくものと考えています。

ぜひ、子どもたちが継続的に防災を学ぶ機会を作っていただくとともに、学校・家庭・地域が連携して子どもたちを災害から守ることができる防災体制の構築にご協力くださるようお願いいたします。

● 家族チェック欄について

そのページで学んだことを家族で共有し、子どもたちだけではなく、家族が同じ認識で災害に向き合うために設けた欄となります。

ページごとに子どもたちが学んだことを確認して下さるようお願いいたします。



さいがいによる ひがい

あおもりけん
青森県では、これまでさいがいによってさまざまな ひがいで
さいがいによる ひがいは、どのようなものがあるでしょうか。

おいらせ町では震度5強の強い揺れを観測し、その後、推定8mの高さの津波が町を襲いました。

● 地震



1983年 日本海中部地震 (今別町)

地面がしずんでしまい、たて物がかたむいたり、道路がこわれることがあります。また、家やビルがたおれてこわれることがあります。



2011年 東北地方太平洋沖地震 (おいらせ町)

津波が発生し、海や川の近くでは、大きなひがいが出る場合があります。



水をもらうために列にならぶ人たち



電気がつかえない生活



こわれて通れない道路

地震によって、電気・ガス・水道などが止まり、トイレやお風呂が使用なくなることがあります。また、道路にひびが入ってこわれたり、鉄道も止まったりするので、食べ物などを運ぶことができなくなることもあります。

※写真出典：青森震災アーカイブ

日本では、近いしうらい、大きな地震が起こると予そくされています。
地震による ひがいを知り、それに対する そなえをすることが大切です。

津軽を中心に急激に風が強まり、りんごの落果等、甚大な被害になりました。

●大雨・台風



1991年 台風第19号 (弘前市)
通しよう「りんご台風」とよばれています。

強い風で木がたおれたり、たて物の屋根やかん板などがとんでくる可能性があります。



2013年 台風第18号 (南部町馬淵川)
大雨で馬淵川や岩木川がはらんしました。

川の水があふれ、ひくい土地は水であふれてしまうことがあります。

●大雪・ぼう風雪



2005年 (青森市)
県内かく地が記ろくてきなごう雪になりました。

ぼう風雪では、雪により前が見えなくなり、事が起こりやすくなります。



2012年 (横浜町)
国道279号で大雪により自動車やく400台が20時間立ちおう生しました。

雪がたくさんふると車がうまってしまふことがあります。

家族
チェック

コメント欄

確認日
(月 日)



大雨・台風・土しゃさいがい

まちには、大きな川が流れています。

台風がきたり、大雨がつづいたので、川の水が いっしょにふえ、

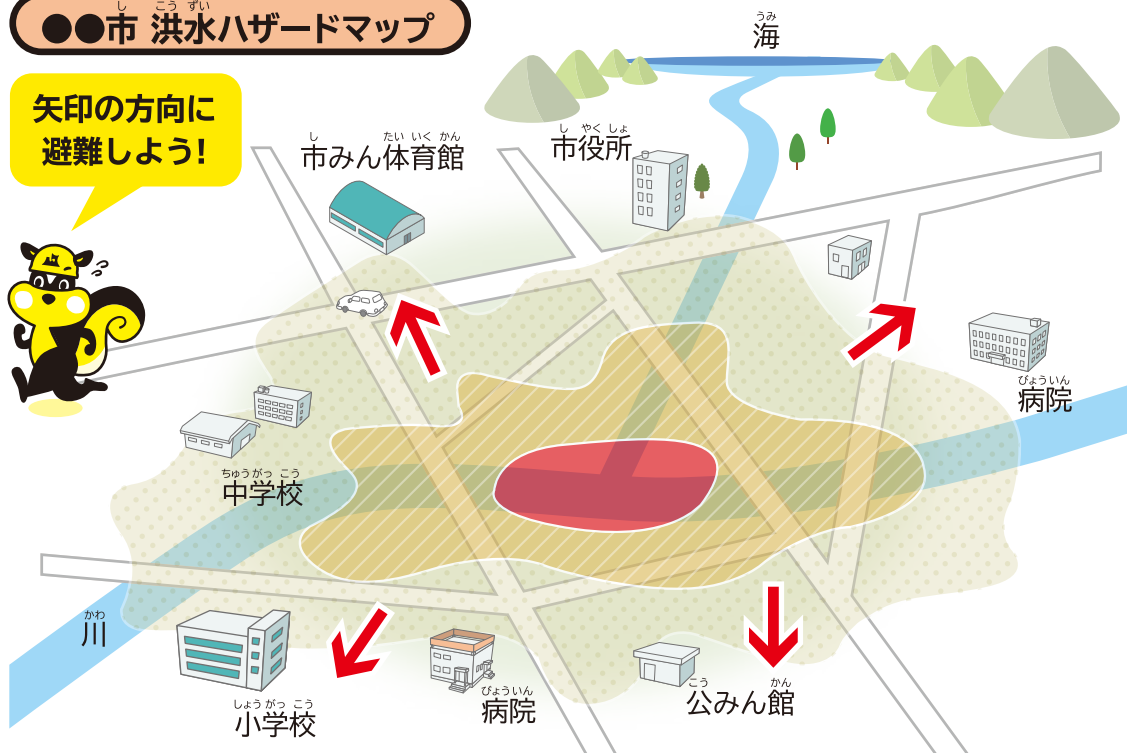
今にもあふれ出しそうです。そのとき、あなたはどの方向に にげますか？

にげる方向に矢じるしを書いてみましょう。

川が氾濫して流されたり、川岸が崩れる場合があるので、できるだけ川や浸水区域から外へ逃げるよう指導しましょう。

市 洪水ハザードマップ

矢印の方向に避難しよう！



- しん水深 0.5m 未満の区いき
- しん水深 0.5m～1.0m 以上の区いき
- しん水深 1.0m～2.0m 以上の区いき



ポイント

さいがいによる ひがいのおそれがある場所がかかれた地図を「ハザードマップ」というんだ。みなさんが住んでいる地いきにも、かならずハザードマップがあるので、もしもの時のため、かくにんしておこう。また、家族で家の近くのハザードマップをかくにんすることも大切だよ。

火山ふん火・大雪・ぼう風雪

●火山ふん火

青森県にある4つの山のうち、ふん火する おそれのある山はどれか、絵を○でかこみましょう。また、山がふん火すると、わたしたちのまちは、どうなるか、正しいものに○をつけましょう。



よう岩が流れだし、まちや家のみこまれる

火山ばいがとんでくる

洪水が起こる

大きな石がとんでくる

火山噴火が発生したら、火山灰などを吸い込まないように、ハンカチなどを鼻や口にあて、近くの頑丈な建物へ避難するよう指導しましょう。

「火砕流・火砕サージ」
高温の火山灰や水蒸気などが、猛烈なスピードでふもとへ降りてくる。

「融雪型火山泥流」
豪雪地帯の火山が噴火すると雪が一気に解けて巨大な泥流が発生することがある。

「噴石」
建物の屋根をつき破るほどの破壊力を持つ。

●大雪・ぼう風雪

青森県は、たくさんの雪がふりつもる地いきが多く、雪による ひがいもたくさんあります。絵を見て、きけんだと思うところを○でかこみましょう。



家族
チェック

コメント欄

確認日

(月 日)

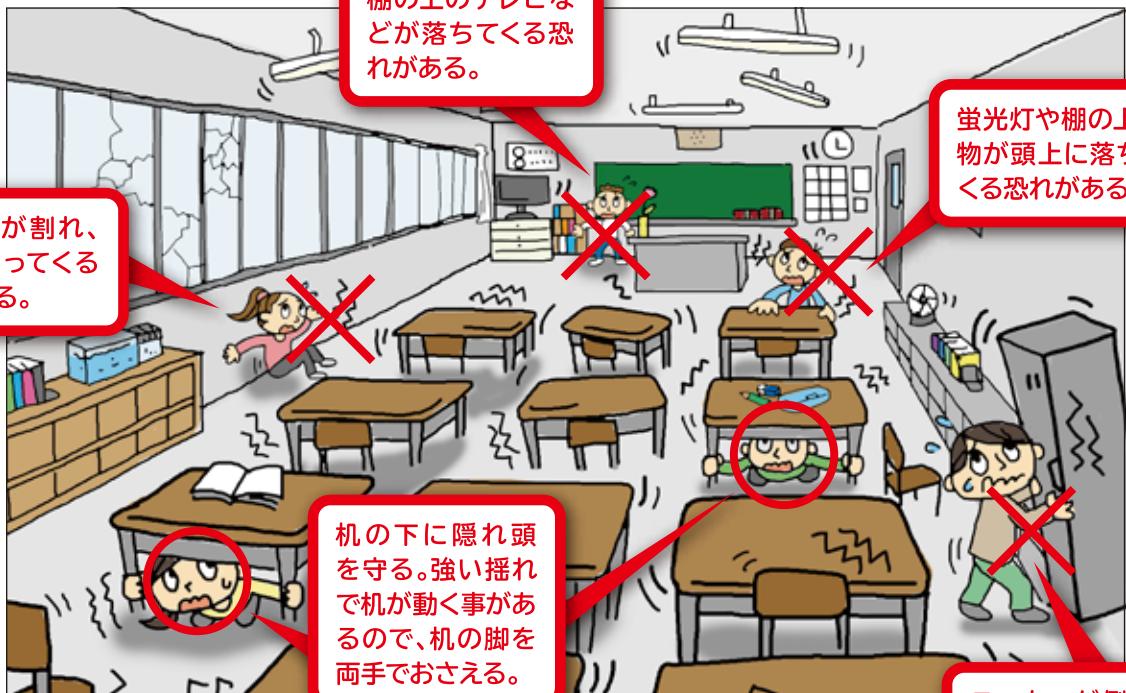
- 屋根の雪下ろし: 屋根から落ちる
- 屋根から落ちる雪の下敷きになる
- 車の運転: 吹雪で前が見えない
- 車がスリップして、突っ込んでくる

除雪作業を手伝うときは、絶対に1人で作業しないこと。屋根の下や道路など、周りに危険がないか、確認してから作業するように指導しましょう。



がっこう へん きょうしつ じしん お
学校へん 教室にいるとき、地震が起こったら!

え み じばん み まも ただ こうどう ひと
絵を見て、自分の身を守るための正しい行動をとっている人を○でかこみ、
そうではない人には、×をつけましょう。



棚の上のテレビなどが落ちてくる恐れがある。

窓ガラスが割れ、頭上に降ってくる恐れがある。

蛍光灯や棚の上の物が頭上に落ちてくる恐れがある。

机の下に隠れ頭を守る。強い揺れで机が動く事があるので、机の脚を両手でおさえる。

ロッカーが倒れてくる恐れがある。

じしん お
地震によって落ちてきたり、たおれてくるものがあります。
みんなの教室にあるものをチェックしてみましょう。

| お 落ちてくるもの | たおれてくるもの | うご 動いてくるもの |
|--|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 教室の けいこうとう | <input checked="" type="checkbox"/> 書だな | <input checked="" type="checkbox"/> 先生をつくえ |
| <input checked="" type="checkbox"/> かべの時けい | <input checked="" type="checkbox"/> ロッカー | <input checked="" type="checkbox"/> 水そう |
| <input checked="" type="checkbox"/> つくえの上の花びん | <input checked="" type="checkbox"/> まどガラス | <input checked="" type="checkbox"/> つくえやイス |
| <input checked="" type="checkbox"/> たなの上にあるもの | <input checked="" type="checkbox"/> 教室のとびら | <input checked="" type="checkbox"/> たなの上にあるもの |
| <input checked="" type="checkbox"/> スピーカー | <input checked="" type="checkbox"/> テレビ | <input checked="" type="checkbox"/> 本 |
| <input checked="" type="checkbox"/> てん 天じょう | | |

実際に自分たちが通う学校の教室にあるものを確認、またはイメージしながら、指導しましょう。

がっこう
学校 へん

学校にいるとき、地震が起きたら!

え みて だけ
絵を見て、正しいもの それぞれ2つに○をつけましょう。

校舎内で地震のゆれを感じたら、
下記の順で避難しましょう。

- ①頭を守り、机の下で待つ
- ②ドアや窓を開ける
- ③頭を守るものをかぶる
- ④その場にいるみんなで避難する

ろう下
や階段
では?



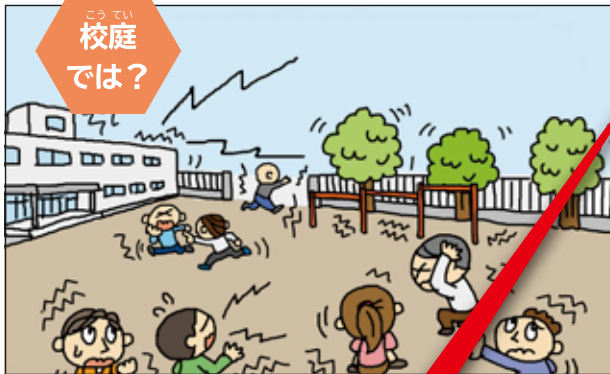
地震の揺れがおさまった後、1階
まで降りることは正しいですが、
「急いで・走る」などは、間違った
行動として、指導しましょう。

廊下の状況によ
って教室に逃げこむ
判断が正解の場合
もありますが、教室
の中に逃げこむと
閉じこめられる危
険性があるため、基
本的に、避難経路
を確保して建物か
ら外へ避難するよ
う指導しましょう。

- 階段の ちゆう 中でも その場にしゃがみ 頭を守る。
- 階段を1階まで急いでかけおる。
- ろう下にいるときは、教室の中に 急いで にげこむ。
- まどから はなれ、ろう下のまん中でしゃがみ、頭を守る。

自分たちが通う学校の
階段や廊下を想定して、
どんな危険があるかみん
なで話し合ってみましょう。

校庭
では?



- なるべくたて物からはなれ、
広い場所ですかがむ。
- 校内放送や先生の指じに
したがう。
- 急いで走って、家に帰る。
- 大きな声で友だちと話す。

校内放送がない場
合は、教師の指示
に従うように指導
しましょう。

家族
チェック

コメント欄

確認日

(月 日)

自分たちが通う学校の
校庭の場合、例えば、
どの辺りなのかをみん
なで話し合いましょ

どのような行動も「急いで」というのは、間違った行動の
キーワード。学校内での避難は、家などに戻らず、先生の
指示に従うべき。また、指示をしっかり聞くためにも、
おしゃべりをやめ、静かに話を聞くように指導しましょう。



かてい へん いえ じしん お
家庭へん 家にいるとき、地震が起こったら!

え み じぶん み まも ただ こうどう ひと
絵を見て、自分の身を守るための正しい行動をとっている人を○でかこみ、
そうではない人には、×をつけましょう。



リビング
やキッチン
では?

クッションなどで頭を守り、
避難経路を確保する。

食器棚や冷蔵庫などが倒れて下敷
きになったり、中のものが飛び出
して怪我をする恐れがある。

テレビが倒れて
足をはさんだり、
窓ガラスの近く
は危険なため、
近づかない。

椅子にしがみ付
いても、上から落
ちてくるものな
どから身を守れ
ないため。

テーブルの下に隠
れ、頭を守る。強い
揺れでテーブルが
動く恐れがあるの
でテーブルの脚を
両手でおさえる。

じしん お
地震によって落ちてきたり、たおれてくるものがあります。
みんなの家にあるものをチェックしてみましょう。

| お 落ちてくるもの | たおれてくるもの | うご 動いてくるもの |
|--|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> リビングの電気 | <input checked="" type="checkbox"/> 食いだな | <input checked="" type="checkbox"/> テーブル |
| <input checked="" type="checkbox"/> かべの時けい | <input checked="" type="checkbox"/> テレビ | <input checked="" type="checkbox"/> ソファ |
| <input checked="" type="checkbox"/> 食いだなの上にある花びん | <input checked="" type="checkbox"/> れいぞう庫 | <input checked="" type="checkbox"/> つくえの上の電話 |
| <input checked="" type="checkbox"/> なべ | <input checked="" type="checkbox"/> リビングのたな | <input checked="" type="checkbox"/> いす |
| <input checked="" type="checkbox"/> 電子レンジやポット | <input checked="" type="checkbox"/> ストーブ | <input checked="" type="checkbox"/> 電子レンジやポット |
| <input checked="" type="checkbox"/> エアコン | <input checked="" type="checkbox"/> いす | <input checked="" type="checkbox"/> なべ |

イラストに描かれていないもので、児童たちの家にあるものを
想像して、話し合うのも良いでしょう。

モノが壊れるのを守ることより、一番に自分の身を優先して守ることを指導しましょう。

かてい へん 家 へん 家にいるとき、地震が起きたら!

え み ただ 絵を見て、正しいものそれぞれ2つに○をつけましょう。



トイレの上部に棚がある家庭もあります。その場合の身の守り方を教えましょう。

- まどやドアを開け、なるべく早くトイレから出る。
- タンクがたおれないようにおさえる。
- 頭を両手で守り、とじこもる。
- 上から落ちてくるものから頭を守る。

【間違いの理由】タンクが倒れてきて、下敷きになる危険が。また、頭を両手で守るのは良いことですが、閉じ込められる危険があるので、なるべく早めに外に出るように指導しましょう



- せん面きなどで頭を守る。
- かがみがわれないようにおさえる。
- まどやドアを開けお風呂を出る。
- よくそうのお湯にもぐってかくれる。

【間違いの理由】鏡が割れて、怪我をする恐れがあります。また、浴槽のお湯に隠れても、身を守ることにはなりません。

じしん 地震がおさまったら、すぐにひなん!

いえ で まえ 家を出る前にするべき じゅんばん 番を1~4の数字で書いてみましょう。

2 ぬげにくい そのあつくつをはく

1 でんき 電気のブレーカーをお落とす

3 まどやドアの力をかけ、カーテンをしめる

4 ひなん先を近所につたえる

ひなんのときにひつようなものをリュックにつめ、いつでも持ち出せるように!

ポイント きげんがせまってるときは、そのまますぐにひなんしよう!

- 現金
- 懐中電灯
- 非常食
- 飲料水
- など
- (詳細は青森県防災ハンドブック「あおもりおまもり手帳」P98.99を参照)

家族チェック

コメント欄

確認日 (月 日)



外にいるとき へん

学校への行き帰り道で、 地震が起こったら！

地震によって町の中では、家がこわれたり、ものがたおれたり、たくさんのきけんが起こります。みんなの町で起こりそうなことをチェックしてみましょう。



市街地で地震のゆれを感じたときは、下記の順で避難しましょう。

- ① かばんや上着などで頭を守る
- ② 窓ガラスや看板、転倒しそうなものから離れる
- ③ 公園や広場など頭上に何も無い場所へ逃げる

落ちてくるもの

- しん号き
- ビルの上のかん板
- 高いたて物のこわれたかべ
- 切れた電線
- 商店がいの電とう
- 家やビルのみど

たおれてくるもの

- 電しん柱
- ブロックべい・校門
- 交通ひょうしき
- お店のかん板
- 高いたて物
- 高い木

動いてくるもの

- お店のかん板
- ちゅう車している車
- ゴミ箱
- おいている自転車
- 自動はん売き
- ベンチ

自分たちの学校の周りにあるもの、児童たちが登校する途中にある危険なものなどを具体的に話し合ってみましょう。